

第1 津波浸水想定区域等の認知・周知状況

1 認知度（問2-1 複数回答あり）

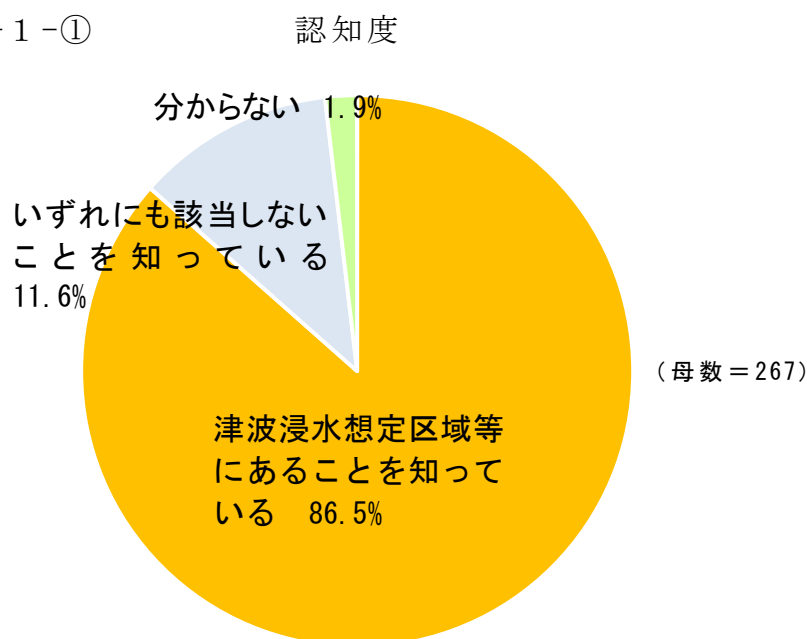
貴施設が、県・市町村から公表されている津波ハザードマップ等の津波浸水想定区域、市町村津波避難計画の避難対象地域、東日本大震災の津波浸水区域にあるかどうかを知っていますか。（当てはまるもの全てに○）

「津波浸水想定区域」、「市町村津波避難計画の避難対象地域」、「東日本大震災の津波浸水区域」のいずれかを挙げたのが全体の86.5%を占めている。

これと「いずれにも該当しないと知っている」と回答した11.6%を合わせると、ほとんどの施設が津波浸水想定区域等にあるかどうかを認識しているとみられる。

これを施設の所在地別、区分別、定員別にみても、ほぼ同様の傾向である。

図表 I-1-①



(注) 母数は、回答があった施設数270から本問に無回答の3を除いた267である。

図表 I - 1 - ②

認知度

(単位：施設(上段)、%(下段))

	調査数	津波浸水想定区域にあることを知っている	津波浸水想定区域のあることを知っている	市の避難対象地域にあることを知っている	波を知らずにいる	東日本大震災の津波浸水区域にあることを知らない	分からない	無回答
全体	270 100.0	189 70.0	124 45.9	90 33.3	31 11.5	5 1.9	3 1.1	

所在地別

青森県	62 100.0	53 85.5	32 51.6	14 22.6	4 6.5	1 1.6	- -
秋田県	70 100.0	52 74.3	29 41.4	2 2.9	8 11.4	1 1.4	2 2.9
宮城県	138 100.0	84 60.9	63 45.7	74 53.6	19 13.8	3 2.2	1 0.7

(注) 「東日本大震災の津波浸水区域にあることを知っている」欄の秋田県の2施設については、施設の回答に沿って計上した。

区分別

乳幼児 関連施設	82 100.0	56 68.3	44 53.7	25 30.5	11 13.4	- -	- -
高齢者 関連施設	132 100.0	92 69.7	61 46.2	46 34.8	10 7.6	5 3.8	3 2.3
障害者 関連施設	56 100.0	41 73.2	19 33.9	19 33.9	10 17.9	- -	- -

定員別

1名～ 10名	52 100.0	31 59.6	18 34.6	17 32.7	11 21.2	3 5.8	1 1.9
11名～ 30名	91 100.0	64 70.3	41 45.1	32 35.2	7 7.7	2 2.2	- -
31名～ 50名	39 100.0	30 76.9	19 48.7	14 35.9	3 7.7	- -	2 5.1
51名～	84 100.0	61 72.6	44 52.4	26 31.0	9 10.7	- -	- -

2 認知方法（問2-2 複数回答あり）

（問2-1で津波浸水想定区域等にあることを知っているとして回答した231施設に）

貴施設が津波浸水想定区域や津波避難計画の避難対象地域にあることなどを、どのようにして知りましたか。

「津波ハザードマップで確認した」が172施設（74.5%）と最も多く、次いで「東日本大震災やその他の津波災害で実際に浸水した」が62施設（26.8%）、「市町村津波避難計画で確認した」が42施設（18.2%）となっている。

図表 I-2 認知方法

（単位：施設(上段)、%(下段)）

	調査数	津波ハザードマップで確認した	市町村津波避難計画で確認した	東日本大震災やその他の津波災害で実際に浸水した	確認した市町村等から説明があった	その他	
全体	231 100.0	172 74.5	42 18.2	62 26.8	1 0.4	11 4.8	
所在地別							
青森県	57 100.0	49 86.0	14 24.6	2 3.5	-	5 8.8	
秋田県	59 100.0	55 93.2	6 10.2	-	1 1.7	4 6.8	
宮城県	115 100.0	68 59.1	22 19.1	60 52.2	-	2 1.7	
区分別							
乳幼児関連施設	71 100.0	52 73.2	16 22.5	13 18.3	1 1.4	8 11.3	
高齢者関連施設	114 100.0	85 74.6	18 15.8	38 33.3	-	2 1.8	
障害者関連施設	46 100.0	35 76.1	8 17.4	11 23.9	-	1 2.2	
定員別							
1名～	37 100.0	29 78.4	6 16.2	10 27.0	-	1 2.7	
11名～	82 100.0	56 68.3	12 14.6	30 36.6	-	2 2.4	
31名～	34 100.0	24 70.6	7 20.6	11 32.4	-	1 2.9	
51名～	75 100.0	60 80.0	16 21.3	10 13.3	1 1.3	7 9.3	

これを施設の所在地別にみると、青森県と秋田県では「津波ハザードマップで確認した」とする施設の割合が高い。宮城県では東日本大震災等で浸水したとする施設の割合が比較的高くなっている。

また、区分別にみると、「県や市町村等から説明があった」とする施設の割合は、乳幼児関連施設では高く、高齢者関連施設と障害者関連施設では低くなっている。

3 施設利用者への周知

(1) 周知状況 (問2-3)

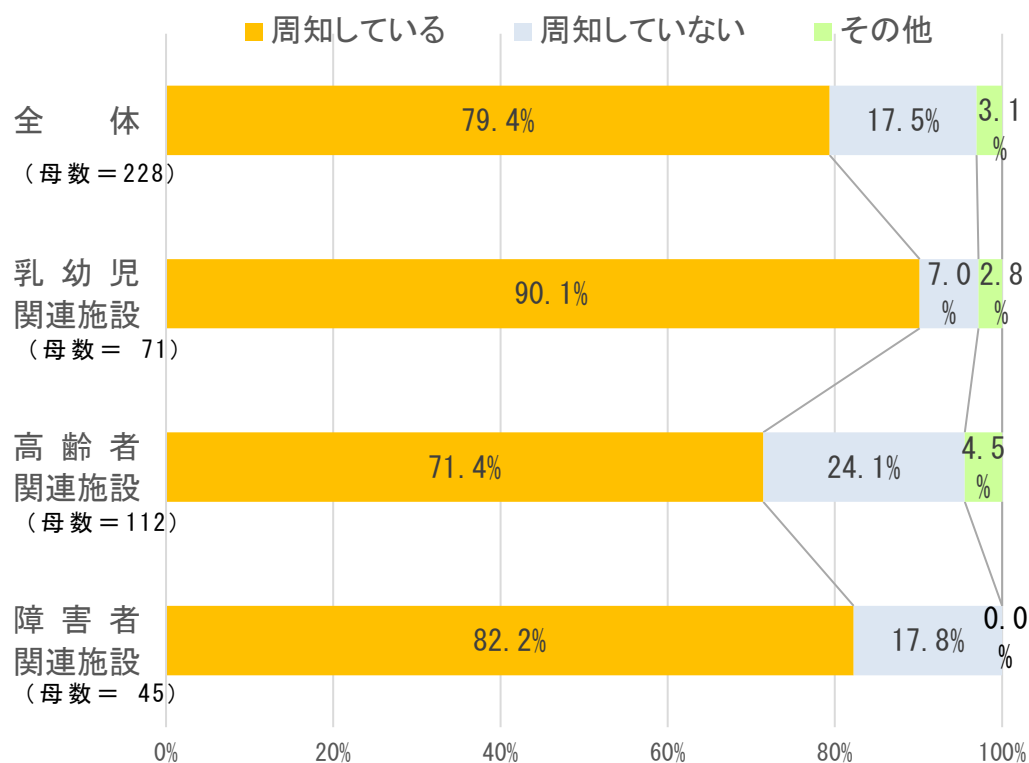
(問2-1で津波浸水想定区域等にあることを知っているという回答した231施設に)

貴施設が津波浸水想定区域や津波避難計画の避難対象地域にあることなどを、施設利用者(利用者の家族・保護者を含む)に周知していますか。(○は一つ)

8割近くと大部分の施設が、津波浸水想定区域等にあることを施設利用者に周知している。

これを施設の区別にみると、乳幼児関連施設で特に、周知が進んでいる。

図表 I-3-(1) 周知状況



(注) 母数は、問2-1で「津波浸水想定区域等にあることを知っている」を選択した施設数231から本問に無回答の3を除いた228である。

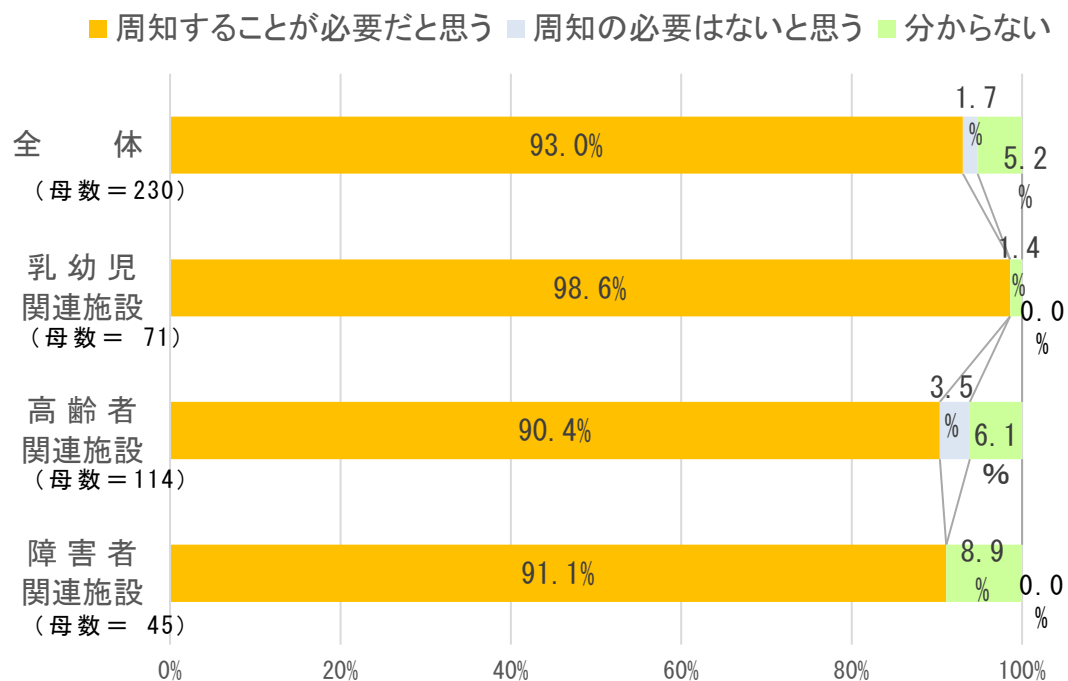
(2) 周知の必要性(問2-4)

(問2-1で津波浸水想定区域等にあることを知っていると回答した231施設に)

貴施設が津波浸水想定区域や津波避難計画の避難対象地域にあることなどを、施設利用者(利用者の家族・保護者を含む)にあらかじめ周知しておくことが必要だと思いますか。(○は一つ)

9割を超える施設が、津波浸水想定区域等にあることを施設利用者に周知する必要があると認識しており、乳幼児関連施設で高くなっている。

図表 I-3-(2) 周知の必要性



(注) 母数は、問2-1で「津波浸水想定区域等にあることを知っている」を選択した施設数231から本問に無回答の1を除いた230である。